

広報 ごじょうめ

発行 五城目町役場 ☎01885 ② 2100 (代)
☎018-17
秋田県五城目町高崎字雀館下川原64の4
編集 文書広報課
印刷 湖東印刷所 ☎01885 ② 2430
毎月1日・15日発行 一部 35円



だまこちは親子の協力で次第にできあがっていく

広報紙中にある写真を欲しい方にはおあげします

寒さの中で楽しい一日

— 楽しい親子技術交換会 —

十八種目に熱戦

一月十三日広域体育館で、町内の家庭教育学級生による「楽しい親子技術交換会」が開かれた。
親子九〇組一八〇人ほどの参加であった。久しぶりの真冬日で、ひねもす雪が降り続き、体育館の中の寒さも相当厳しいものであったが、十八種目にわたる熱戦は、その寒さをものともせず楽しい一日を過した。

生活技術の会得がナライ

この技術交換会には、いろいろなネライがあった。親子のコミュニケーションを基調にした生活技術の会得がそれであった。

競技中にけがをした子どもが八人もいた。それもりんごの皮むき、たくあん切りに集中した。「えんぴつメッセージ」では、ナイフで鉛筆をけずる場面があった。真新しい鉛筆も子どもたちの手にかかること、世にもみじめな姿に変ぼうした。現代の子どもの世、いかに指先が不器用であるかの証明でもあった。競技のために練習したとも言っていたが、生活技術は一朝一夕に会得されるものではなく、日常生活の中で培われるべきものであることをよく物語っていた。それは何も子どもばかりの問題でなく、母親たちのこととしてもとり上げる必要があった。

当日、母親がわりに出場した八十三歳と五十九歳のおばあさんがいた。二人とも走るスピードこそないが「お針子ぬいぬい」いわゆる和裁の基本である運針では八十三歳の小浜さんが、「なわな競争」では五十九歳の伊藤さんが圧倒的な早さをみせ、なみいる人々をおどろかせた。この二人に圧倒されたということは、母親たちの生活の中でも何か欠けてはいないかという疑問がわいた。

楽しいゲームの結果に水を差すつもりはないが、先に述べたことはあまりにも鮮明であったからである。

かけがえのない体験

しかし、子どもたちは母親との共同ゲームに喜々としていた。おにぎり、だまこちなど仕上げの手順はおそらく初体験の子どもが多かったことだろう。今、生活の中で忘れさられ、風化されようとしている技術を体験したことは、子どもたちにとってかけがえのないものになることだろう。この種の機会をもっともつと増やして、少しでも多くの親子に体験させ、心のきずなを強く結ばせる礎としたものだ。父親たちの参加があればその効果はさらに大きくなると思うのだが、いかがなものだろうか。

消防出初め式

10団体と111人を表彰

新春恒例の消防出初め式は、一月六日午前九時から、消防署員、消防団員など約三百五十人が参加して行われ、消防活動に功績のあった十団体と百十一人が表彰された。

今年例年になく穏やかな日とで、雪のない出初め式になった。消防署前で観閲が行われた後、式典会場の広域体育館まで、火の用心と書かれた横幕を先頭に町内を行進して、今年一年の無火災を町民に呼びかけた。途中、上町通りの伊藤果物店前で分列行進を行い、団員の士気を鼓舞した。

午前十時から広域体育館で行われた式典では、十団体と百十一人に表彰状や感謝状が贈られた。

町長の式辞、消防団長の訓辞などがあつた後、被表彰者を代表して第九分団長の伊藤耕一郎さんが「この感激を胸に消防任務の遂行に専念します」と謝辞を述べた。また畑沢副団長が全団員を代表して「消防の使命達成にまい進します」と力強く宣誓し、無火災と防災の決意を新たにしました。

県知事表彰 有功章

6分団 分団長 越高 儀市
9分団 伊藤 耕一郎
13分団 佐藤 昌一
4分団 副 斉藤 豊治

同35年勤続章

4分団 班長 近藤 政雄
5分団 分団長 草皆 定雄
6分団 副 佐藤 国松
7分団 分団長 小玉 金五郎
8分団 分団長 大石 喜代松
9分団 副 阿部 一
11分団 分団長 伊藤 耕一郎
分団長 伊藤 喜一郎
分団長 沢田 石栄之助

同30年勤続章

1分団 副分団長 原田 国治
8分団 班長 桜田 政己
9分団 班長 石井 次郎
11分団 副分団長 田中 英作
13分団 副分団長 沢田 石忠作
消防署 司令 伊藤 新一郎
消防署 司令 佐藤 道雄
消防署 司令 佐藤 良蔵

同25年勤続章

団本部 団長 小玉 太美雄
10分団 団長 石井 正一郎
11分団 副 松橋 正司

同20年勤続章

1分団 班長 長谷川 順一
5分団 団員 斉藤 鉄也
9分団 団員 伊藤 寿美隆
消防署 副士長 菅生 隆

同消防施設協力者

久保 部 落会
富田 椎名 富夫
黒土 石井 力太郎
湯ノ又 沢田 石 富治

同消防協会長表彰 顕功章

前団本部 分団長 斉藤 鴻司
前8分団 大石 喜代松
前11分団 副 沢田 石正男

同功労章

3分団 部長 小玉 松雄

同15年勤続章

7分団 団員 佐々木 勝之助
8分団 副 伊藤 義男
10分団 副 石井 正一郎
11分団 副 松橋 正司

同10年勤続章

2分団 団員 猿田 郁男
猿田 順治
工藤 清之助
宮城 昭男
宮崎 昭男
佐々木 喜久也
佐々木 義宣
大石 良雄
大石 勝三
猿田 京一
小玉 文雄
石井 邦憲
佐藤 重穂
小船屋 理久夫
伊藤 勳
阿部 博美

同5年勤続章

1分団 団員 藤田 正義
伊藤 多喜美
千田 甚三郎
竹田 恒夫
石川 勝雄
小玉 勝雄
石井 久美雄
金子 久孝
消防署 消防士 金子 久孝

同精勤章

1分団 団員 石井 武二
山田 良悦
本間 善信
工藤 隆進
草皆 隆悦
金野 勇
石川 恒夫
石井 良之助
渡部 薫
松橋 国雄
畑沢 甚一

男鹿南秋支部長表彰 優良団員

1分団 団員 石井 武二
山田 良悦
本間 善信
工藤 隆進
草皆 隆悦
金野 勇
石川 恒夫
石井 良之助
渡部 薫
松橋 国雄
畑沢 甚一

同7年勤続章

13分団 部長 島崎 喜明
金子 栄作

同5年勤続章

1分団 団員 伊藤 勇
館岡 正一
佐々木 藤男
金沢 重勝
大石 寿信
佐藤 幸作
加藤 修一

同4年勤続章

4分団 団員 小野 久
山崎 喜孝
斉藤 勇雄
石井 一雄
石井 英夫
石井 康昭
草皆 鐘悟
草皆 潤一
伊藤 秀夫
伊藤 辰雄
小玉 孝一
石井 金男
嶋崎 肇

同3年勤続章

13分団 副分団長 伊藤 文右衛門
部長 小玉 重吉
副 小藤 勝太郎
佐藤 甚助
小玉 正

同2年勤続章

13分団 副分団長 伊藤 文右衛門
部長 小玉 重吉
副 小藤 勝太郎
佐藤 甚助
小玉 正

建築確認申請 早目に役場窓口へ

自分の敷地に自分のお金で建物を建てる場合であっても、建てる前に建築確認申請書をださなければいけません。申請書を出す窓口は役場にありま。

しかし、窓口に申請書をだしただけでは、着工はできません。この時点での着工は、たとえ基礎工事であっても法律違反になり、県内で司法の処分を受けた実例があります。実際に着工できるのは、建築確認通知書いわゆる副本の方ださい。

がみなさんに届いた時からです。この通知書は、建築通知書年月日と番号、それに建設主事の氏名に印が押されており、再発行できないものですので、人手に渡したり、無くしたりしないようにしてください。

建築確認申請書のとおり建てることによって、安全で健康的な住まいづくりができることになりま。

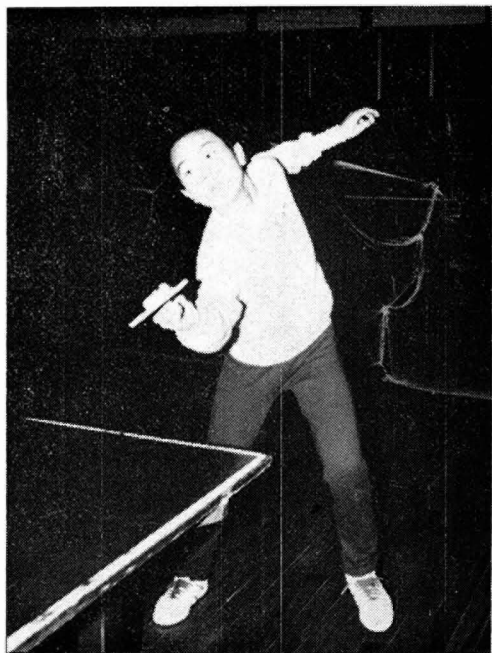
分からないことは、建築士に相談するか、窓口である役場や県の土木事務所建築課に問い合せてください。

消防団長表彰 優良分団

第3分団

五城目町長感謝状 永年勤続退職者

前団本部 分団長 斉藤 鴻司
4分団 班長 加藤 四朗
分団長 小野 幸一郎
班長 大石 喜代松
班長 椎名 農三
班長 小玉 不二雄
分団長 伊藤 文右衛門
副分団長 佐藤 市松
部長 小玉 重吉
副 小藤 勝太郎
佐藤 甚助
小玉 正



全国優勝を目指して

五城目一中卓球部主将
富 樫 隆 徳

わが卓球部は部員数が多いが、指導してくださる方たちが熱心で強くなりたい人であれば、時間的にも内容的にも思う存分練習でき

る。時には、だらけていると言われることもあるが、白球を相手にするうちに、次第に余計なことなど考えないようにしていく。練習の時には、試合でなされた反省をもとに、弱点を補強しながら、技術を強化していきたい。もちろん、得意とする技術は、サーブにせよ、レシーブにせよ、必殺

技だと言えるように完成させていきたい。

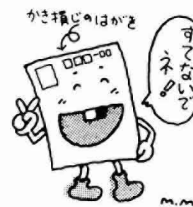
このために私たちは「卓球ノート」を作っている。これにメモをとり続けて、自らを正しくつかみキメの細かな配慮を欠かさず、練習に無駄がないようにしていくつもりだ。

今は冬期間であり、敏捷（びんしょう）性、判断力、筋力を高めるための基礎トレーニングも行っている。フットワークに力を付け、かけ、スマッシュに威力をつけ、これまで返球できなかった球を返球できるようにしたいし、一発で相手の守りを抜けるパワーもマスターしたい。

卓球そのものは、見かけは個人プレーのようであるが、決して一人では伸びてはいけないうものだという自覚に立って、我が部なりのチームワークを組み、全国大会優勝を目指して心をこめて部をまわめていきたい。

↑チームの一員として
主将としてがんばる富樫選手

書き損じた年賀はがき 交換できます



《ご存じですか》

あつけない、住所を間違った……年賀状を書き損じた経験は、どなたも一度ならずあることでしょう。

それはともかく、書き損じたはがきを破いてしまったり、くしゃくしゃにしてクズかごにポイと捨てたりしていませんか。

年賀状に限らず、官製はがきの場合、書き損じたものや多く印刷しすぎてしまったあいさつ状など

は、郵便局に持っていくと、新しいはがきと取り換えてくれます。

交換手数料は次のとおりです。

通常はかき一枚五円、往復はがき一枚十円、このほか「ミニ・レター」と呼ばれる郵便書簡も一枚十円で交換してくれます。

ただし、はがき、郵便書簡とも切手に相当する部分を汚したり、傷ついたりしたものは、交換できません。

「若人の船」

参加者を募集

財団法人ブルーシー・アンド・グリーンランド財団では、海外体験航海第五回B&G「若人の船」の参加者を募集しています。

この海外体験航海の参加申し込みには、町長の推薦が必要ですが、参加希望者は役場企画調整課（☎②2100）へご相談ください。

▽実施期間

Aグループ

三月十四日～三月二十四日

Bグループ

三月二十三日～四月三日

▽寄 港 地 台湾・香港

▽参加資格

①B&Gクラブ員の十八歳から三十歳までの男女（高校生を除く）
②一般勤労青年および大学生で十八歳から三十歳までの男女

▽参加費

九万五千円：この体験航海では参加者一名について直接経費約二十五万八千円を要するが、財団でそのうち十六万三千円を負担します。

▽申し込み先・問い合わせ先

〒135-191

東京都深川郵便局私書箱一六号

（財）B&G財団「若人の船」係

☎03（643）3121

▽申し込み締切り

一月三十一日（必着）



税の相談はお気軽に

今年も贈与税や所得税の申告時期が近づいてきましたが、所得や税額の計算などで相談したいことはございませんか。

こんなとき、あなたの電話が税の相談役に早がわりするテレホンサービスをご利用ください。

テレホンサービス

テレホンサービスとして

税務相談室秋田南分室

☎0188（33）3044

があります。

テレホンサービスでは知識や経

し尿浄化槽の実態調査

～1月20日から～

町では、し尿浄化槽などによる公共用水域の水質汚濁を防止し、生活環境の保全を図るために、家庭排水などによる汚濁防止に関する指導要綱を制定し、昭和五十六年十二月一日から実施しています。

これに関連して、今後の下水道事業の計画策定などに役立てるため、し尿浄化槽設置状況の実態調査を行います。

一月二十日から調査員が各家庭を訪問しますので、ご協力をお願いいたします。

税務署での相談

税務署も、いろいろな税金の相談について、それぞれ担当の職員がおたずねにお答えします。



無リン洗剤使用で
美しい湖沼を次の世代に

川や湖を汚さないで



第二回馬場目地区ロードレース 石井さん親子で入賞

第二回馬場目地区ロードレース大会は、一月一日、同地区の町内会から四十選手が参加して行われ、女子の部で石井さん（小野台）親子がそろって入賞した。

レースは馬場目児童館前をスタートにして、年齢、性別ごとに距離を決めて行われた。三十歳以上の部、女子の部、小学生の部が小野台バス停で折り返えす千五百メートル。中学生が平ノ下入口で折り返えす二千メートル。高校生から三十歳までの部が平ノ下で折り返えす三千八百メートル。

- ・小学生の部
 - ①石井 井利彦（蓬内台）
 - ②石井 英二（寺庭）
 - ③児玉 寛紀（中村）
- ・中学生の部
 - ①石井 よしのり（蓬内台）
 - ②石井 新栄（帝釈寺）
 - ③石井 英明（寺庭）
- ・高校30歳まで
 - ①内藤 隆（寺庭）
 - ②石井 義光（平ノ下）
 - ③佐藤 幸介（中村）

ママさんの受講生募集

▽ママさん水泳教室

・日時

二月・三月

四月・十一月・十八日・二十五日

午後二時～三時

・場所 屋内温水プール
・申し込み方法

- ・30歳以上
 - ①金野 勇悦（平ノ下）
 - ②石井 新市（帝釈寺）
 - ③田中 喜美治（平ノ下）
- ・女子の部
 - ①石井 延子（寺庭）
 - ②石井 房子（小野台）
 - ③石井 ミヤ子（小野台）

水泳バッチテスト

・期日 二月十四日（日）

午後二時～

・会場 屋内温水プール

・参加申し込み先

屋内温水プール

電話②4411（内線75）

・料金

申し込み料

（プール使用料金含む）

大人：二百円

小人：百円

認定料（合格者のみ）

四級～六級：無料

一級～三級：四百円

（登録料・バッチ代）

▽テスト内容

・一級（100M金バッチ・認定証）

自由型（クロール）・平泳ぎ・

背泳ぎの三種目が100M合計タイム5分以内（一種目1分40秒位）であること。

・二級（50M銀バッチ・認定証）
自由型（クロール）・平泳ぎ・背泳ぎの三種目が50M合計タイム3分以内（一種目1分位）であること。

・三級（25M銅バッチ・認定証）
自由型（クロール）・平泳ぎ・背泳ぎの三種目が25M合計タイム1分30秒以内（一種目30秒位）であること。

・四級（得意種目50M認定証のみ）
自由型で50Mタイムが60秒以内であること。

・五級（得意種目25M認定証のみ）
自由型で25Mタイムが25秒以内であること。

・六級（得意種目25M認定証のみ）
自由型でタイムが40秒以内であること。

卓球大会

一月三十一日（日）

午前九時～ 監督会議

午前九時三十分～ 競技開始

・会場 広域体育館

・競技方法

①団体戦のみ実施

三チームによる予選リーグ終了後、決勝トーナメントを行う

②参加選手（一チーム五名）

小学生・中学生二十歳・二十歳代・三十歳代・四十歳代各一名

③採点方法

予選リーグで二敗のチームは参加点のみ、一勝一敗のチームは二回戦進出

カメラレポート

森山山頂で除夜の鐘

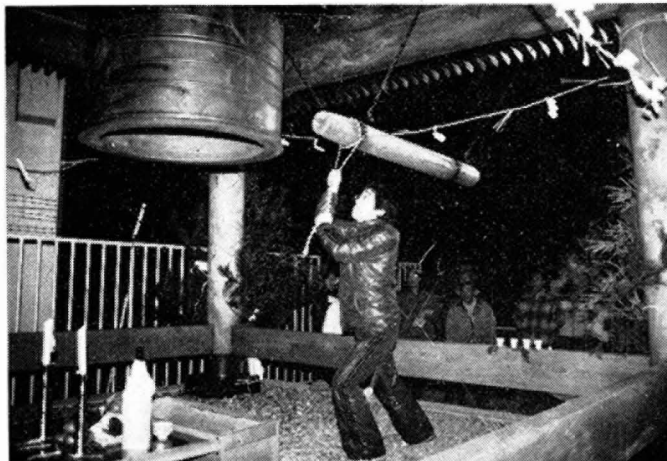
50人がかわるがわる鐘をつく

十二月三十一日の夜、森山山頂に町内のみなさん約五十人が集まり、かわるがわる除夜の鐘をつきました。

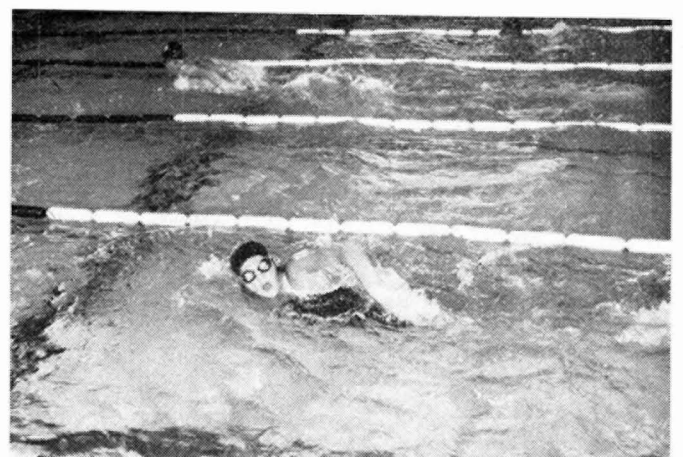
当日はそれほど寒くなく、風も無い穏やかな夜でした。また積雪がまったく無かったので、車で山頂へ登ることができました。半数以上が小中高生でしたが、なかには家族で訪れた人もいました。

最初、町の代表が十八回ついたら、町の灯を眼下に見ながら、参加者たちが思い思いの気持ちで込めてついていた。

昨年は、町内のみなさんからたくさん希望があったのにもかかわらず、除夜の鐘をつくことができませんでした。参加者の一人は「今年は、鐘をついて身を清めることができました」と感激していました。



町内のみなさんに解放された除夜の鐘



クロールで泳ぐ長崎選手

平泳ぎの長崎選手来町

温水プールで東北ジュニア水泳強化合宿

東北ジュニア水泳強化合宿が、十二月二十五日から三十日まで屋内温水プールで行われました。

一行はコーチなどを含めて約四十人、選手は東北の各県から選ばれた中学生たちでした。現在、国際大会でも注目されている平泳ぎの長崎宏子さんも参加するなど、将来の活躍が期待される選手ばかりでした。

トレーニングは午前十時から午後四時半まで行われ、毎日一万メートル以上泳いでいました。泳法も選手の得意に関係なく、すべてについて練習するという厳しいものでした。

温水プールについて選手たちの感想は「水がきれいで泳ぎやすいプール」と好評でした。ただ一日に一万メートル泳ぐ選手にとっては、水温が少し高いとの評価でした。

広報文芸



川柳すずむし吟社 七十二号

聞き流す耳を持つて老いの妻
おくれ毛へ女は愚痴をかきあげる
惜別と言う哀しみの坂がある
夫となら渡れる丸木橋である
敗け戦破れ太鼓の音と変り
サンダラスかけて謎めく顔となり
人影が見えて他人らしく見せ
出稼ぎに余韻が冴える笛太鼓
手のひらに乘れば石ころだった夢
値上りの愚痴まで筆に入れてくる
振り向けば何をしたのかもう師走
明日と云う風の動きも濃く淡く
胃カメラと森の深さを信じよう
ひよっとこの面で急場の責めを逃げ
猿田 寒坊 渡辺銀雨

新春波の音

五城目町館町

長沢 文次郎

新しい、びりっとした大気を
胸いっぱい吸う。純白の新雪を
踏み、その気分たるやまた格別、
何と清しいことである。
袴を正して老杉下に鳥居をくぐ
る。さらっと降りかかった雪、朝
の静けさに一体をなす神灯の炎が
奥まって目に着く、神々しさや、
言わん方なし、柏手のひびきに揺

町村俳句会 新年句

五十路の冷害苦農初詣
朝明けの初雪踏みて鈴の鳴る
頼寄せて賀状に妻と娘かな
鈴振れば天朝の日や灯をはじく
ある楽章をわれは思いき初霧に
斎藤耕之助
石井 進
伊藤 芳穂
伊藤 正蔵
斎藤 諒一

婦人国内研修社会見学領域の点描

松島

阿部 ミワ

はじめての松島訪いし日のときめきの三十年
前をたずねつつゆく
松島のかげよう海よ旅の日の視野いっぱい
いのちふれつつ
秋晴れの外海の風こちよく太平洋にこころ
ゆらぎぬ
観らん亭のめぐりさん橋わたりゆけばつな
る小舟に海草あおき
大漁ぶしの景気よき唄ながれだし王朝風のふ
ねうごきゆく

道

石井夢ノ介

桐の香に魅せられて六十有余年究めきし道遙
かなるかな
一筋にこの道拓く若人よ気高き桐の花を咲か
して
指物の古きを究め尽くるなきこの道ひらけと
わに縫ぎひと

カメラリポート

東北大会もがんばる

五小チーム全県バスケットで準優勝

一月八日、五城目小学校ミニバスケットボール男子チームの代表三人が役場を訪れ、町長に全県大会準優勝の報告をしました。
五城目小の男子チームは、一月五日から七日まで秋田市・県立体育館で行われた全県ミニバスケットボール教室交歓大会に、南秋田郡を代表して出場し、決勝で秋大附属小学校に29対27のゴール差で惜しくも敗れました。準決勝で前年度優勝校の浜口小(能代・山本代表)を38対34で破り、決勝では秋大附属小を前半大きくリードしての逆転負けでした。
選手たちは「東北大会でもがんばります」と力強く町長に約束していました。五城目小の男子チームは、三月二十八日から秋田市で行われる東北大会に出場することになっています。



テープカットをしてスキー場開きを祝う

雪ごい兼ねて開場式

恋地国設スキー場開き

恋地国設スキー場の開場式は、一月八日午前十時半から現地、関係者約五十人が参加して行われました。
今年は雪不足で、スキーシーズンの安全祈願と、雪ごいを兼ねたスキー場開きになりました。ゲレンデの積雪は約十五センチで、毎年行われるスキー愛好者による初すべりはできませんでした。
それでも地元の子どもたちは、リフトが動きだすと、雪の間からのぞいている枯れ草を避けながら初すべりを楽しんでいました。スキー場関係者の話によると、本格的にすべれるようになるには、最低三十センチの積雪が必要ということでした。
スキー場のリフト料金は昨年と同じです。稼働時間は午前九時から午後四時まで。



町長に全県大会準優勝の報告をする選手たち

青年議会
 1月31日



【おしらせ】

第二期

三種混合予防接種

ジフテリア・百日咳・破傷風

第二期三種混合（ジフテリア・百日咳・破傷風）予防接種を次の内容で行います。

これは、第一期の接種を三回完了して、一年から一年半後にもう一度行うものです。第二期として四回目を受けると免疫が非常に強くなりますので、対象になつてい

るお子さんは必ず受けてください

大潟村職員採用試験

▽日程
二月四日（木）
五城目・面潟地区
（担当 畑沢医師・笹尾医師）
二月五日（金）
馬場目・内川地区
（担当 川崎医師・笹尾医師）

▽受付時間 午後一時～二時
▽場所 広域体育館予備室
▽対象者 昭和五十二年九月一日から昭和五十三年八月三十一日までの出生者

▽注意事項
・問診票の事項は必ず保護者が記入してください。
・当日、会場に来る前にお子さんの体温を測定して健康状態を確かめてください。
・母子手帳を持参してください。



▽第二次試験 二月上旬
大潟村にて
第一次試験合格者に対して「作文試験」「口述試験」および「身体検査」を行う。

▽受験手続、受付期間
申し込み用紙は大潟村役場総務課に請求し必要事項を記入して一月二十三日（土）までに提出する。

聴覚障害者の補聴器の巡回相談

次の内容で補聴器に関しての相談を行います。

▽日時 二月四日（木）
午前十時～午前十一時

▽場所 町民センター二階
「いづみ」

※身体障害者手帳（持っている方）と印鑑をご持参ください。

自衛官募集

自衛官の五十六年度第四次募集を行っています。募集階級は二等陸士、二等海士および二等空士です。詳しいことは、役場住民課までお問い合わせください。

▽募集期間

一月四日～三月三十一日



善意銀行

五十六年十二月

・十四日 小倉 千葉 六郎
（亡母チタ様の香典返しとして）
・十六日 上樋口（上） 匿名
千円 町より支給された身障者手帳を寄付したものを

・二十三日 仲町 小森マツエ
二千元 町より支給された身障者手帳を寄付したものを

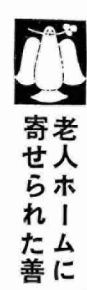
・二十四日 三万五千九百八十七円
ひまじんBANK
（十二月十九日クリスマスパーティー時における収益金の一部を寄付したもの）

・二十八日 代表 高津 智
（十二月十九日クリスマスパーティー時における収益金の一部を寄付したもの）

・二十八日 ローターアクトクラブ
二万円 会長 佐々木喜久雄
（十二月十三日チャリティダンスパーティー時における収益金の一部を寄付したもの）

・六日 餅 18kg
高千子供会

五十七年一月
・四日 もち 25kg
高千子供会



老人ホームに寄せられた善

五十六年十二月

・二十二日 飯田川町婦人会
慰問

・二十三日 サイダー 2ダース
五城目食肉組合

・二十四日 煙草 二百五十五個
日本専売公社秋田支局

・二十五日 うどん 65人分 エビ天 50個
大川一區 伊藤金千加

・二十七日 ミカン 30kg
五城目町 佐藤成孝

・二十六日 バザール収益金 一六、六六四円
五城目第一中学校

・二十九日 赤飯、日本酒、ブドウ酒
上山内婦人会

・三十一日 年越そば 50人分
上樋口 猿田源三郎

五十七年一月
・一日 慰問、餅 9kg みかん 15kg
八郎潟町のんき会

・六日 餅 18kg
高千子供会

2月 ごみ収集日

町内名	1回	2回	3回	4回	5回
野	1	6	12	17	23
新里	1	6	12	17	23
希望ヶ丘	1	6	12	17	23
田町	1	6	12	17	23
上田	1	6	12	17	23
今田	1	6	12	17	23
御蔵	1	6	12	17	23
小池	1	6	12	17	23
川原	1	6	12	17	23
新	2	7	13	18	24
一番	2	7	13	18	24
古川	2	7	13	18	24
紀久栄	2	7	13	18	24
中川	2	7	13	18	24
館	2	7	13	18	24
岩城	2	7	13	18	24
築地	3	9	15	20	25
畑	3	9	15	20	25
新畑	3	9	15	20	25
崎	3	9	15	20	25
仲	5	10	16	22	26
長	5	10	16	22	26
米沢	5	10	16	22	26
雀	5	10	16	22	26
昭辰	5	10	16	22	26
大川一	5	10	16	22	26
区	5	10	16	22	26
二	5	10	16	22	26
三	5	10	16	22	26
四	5	10	16	22	26
馬場	4	13	24		
富津	4	13	24		
内川	4	13	24		
大	9	19	27		
本	9	19	27		
村	9	19	27		
外	9	19	27		
部	9	19	27		
落	9	19	27		
馬	9	19	27		

・直接搬入の場合も焼却場へご連絡ください。
（電話 3958）

休み 8日・11日・14日・21日・28日

＜直接搬入料＞

2トン未満積車 1回につき 600円
2～4トン未満 1回につき 900円
4トン以上 1回につき 1,350円

※収集日が多少変更になることもあるので広報のごみ収集日日程表を必ず見るようにしてください。

焼却場にゴミを直接搬入する場合は、直接搬入券が必要です。この搬入券は、焼却場入口にある館岡商店（電話 2-3367）で売っておりますのでご利用ください。